

「いせはら暮らしのガイド」今後のあり方についてのwebアンケート結果について

1 アンケートの概要

(1) 「いせはら暮らしのガイド」今後のあり方について

市民の生活に役立てていただくことを目的に、市の概要、行政情報、その他、医療をはじめとする各種生活情報などを紹介する保存型ガイドブック「いせはら暮らしのガイド」を2～3年毎に発行しています。

インターネットの普及により、ホームページ上で新しい情報が即時に見ることができる現在、「いせはら暮らしのガイド」について市民のニーズを把握するとともに、紙媒体での情報発信等の今後のあり方について検討するため、アンケート調査を実施します。

(2) アンケート実施概要

①アンケート期間 令和4年2月15日（火）～3月9日（水）

②アンケート方法 市公式ホームページのwebアンケート及びTwitterに掲載

2 アンケート結果

(1) 回答者の属性（住まい・年齢）

①回答者数

回答者数	340
------	-----

②住まい

市内在住	329	96.8%
市外在住	11	3.2%

③年齢

20歳未満	5	1.5%
20代	7	2.1%
30代	30	8.8%
40代	61	17.9%
50代	110	32.4%
60代	69	20.3%
70歳以上	58	17.1%

(2) 「いせはら暮らしのガイド」を知っていますか

①回答者数

知っている	298	87.6%
知らない	42	12.4%

②年代別

	知っている		知らない	
20歳未満	1	20.0%	4	57.1%
20代	2	28.6%	5	16.7%
30代	26	86.7%	4	13.3%
40代	53	86.9%	8	13.1%
50代	100	90.9%	10	9.1%
60代	64	92.8%	5	7.2%
70歳以上	52	89.7%	6	10.3%

(3) 現在「いせはら暮らしのガイド」を持っていますか

①回答者数

持っている	255	85.6%
持っていない	30	10.1%
わからない	13	4.4%

②年代別

	持っている		持っていない		わからない	
20歳未満	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
30代	19	73.1%	4	15.4%	3	11.5%
40代	44	83.0%	8	15.1%	1	1.9%
50代	87	87.0%	7	7.0%	6	6.0%
60代	55	85.9%	7	10.9%	2	3.1%
70歳以上	48	92.3%	3	5.8%	1	1.9%

(4) 「いせはら暮らしのガイド」をどの方法で入手しましたか

①回答者数

自宅に届いた	229	76.8%
転入時	26	8.7%
わからない	34	11.4%
未記入	9	3.0%

②年代別

	自宅に届いた		転入時		わからない		未記入	
20歳未満	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
20代	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%
30代	17	65.4%	6	23.1%	1	3.8%	2	7.7%
40代	33	62.3%	8	15.1%	8	15.1%	4	7.5%
50代	80	80.0%	8	8.0%	11	11.0%	1	1.0%
60代	54	84.4%	2	3.1%	7	10.9%	1	1.6%
70歳以上	45	86.5%	1	1.9%	6	11.5%	0	0.0%

(5) 「いせはら暮らしのガイド」のどの項目が役に立ちましたか

①回答者数

伊勢原市ガイド	108	36.2%
いざという時に備えて	145	48.7%
市役所案内	62	20.8%
戸籍・住民登録・証明	59	19.8%
税金	32	10.7%
国保・年金・後期高齢者医療	56	18.8%
介護・福祉	55	18.5%
健康	58	19.5%
子育て・教育	46	15.4%
暮らし・環境	87	29.2%
各種ご相談	42	14.1%
議会・選挙	7	2.3%
公共交通機関	29	9.7%
公共施設ガイド	86	28.9%
生活ガイド	73	24.5%
活用したことがない	90	30.2%
その他	6	2.0%

②年代別

	20歳未満		20代		30代		40代		50代		60代		70歳以上	
伊勢原市ガイド	0	0.0%	0	0.0%	10	9.3%	22	20.4%	31	28.7%	20	18.5%	25	23.1%
いざという時に備えて	0	0.0%	1	0.7%	8	5.5%	23	15.9%	49	33.8%	32	22.1%	32	22.1%
市役所案内	0	0.0%	0	0.0%	3	4.8%	10	16.1%	19	30.6%	10	16.1%	20	32.3%
戸籍・住民登録・証明	0	0.0%	0	0.0%	6	10.2%	6	10.2%	18	30.5%	15	25.4%	14	23.7%
税金	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	8	25.0%	10	31.3%	6	18.8%	7	21.9%
国保・年金・後期高齢者医療	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	7	12.5%	13	23.2%	14	25.0%	21	37.5%
介護・福祉	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	9	16.4%	16	29.1%	12	21.8%	17	30.9%
健康	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	10	17.2%	15	25.9%	15	25.9%	16	27.6%
子育て・教育	0	0.0%	0	0.0%	8	17.4%	15	32.6%	13	28.3%	6	13.0%	4	8.7%
暮らし・環境	1	1.1%	0	0.0%	7	8.0%	15	17.2%	24	27.6%	19	21.8%	21	24.1%
各種ご相談	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%	8	19.0%	15	35.7%	10	23.8%	7	16.7%
議会・選挙	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%
公共交通機関	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	6	20.7%	10	34.5%	6	20.7%	6	20.7%
公共施設ガイド	0	0.0%	0	0.0%	5	5.8%	9	10.5%	23	26.7%	25	29.1%	24	27.9%
生活ガイド	0	0.0%	0	0.0%	5	6.8%	13	17.8%	15	20.5%	20	27.4%	20	27.4%
活用したことがない	0	0.0%	0	0.0%	7	7.8%	18	20.0%	39	43.3%	15	16.7%	11	12.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	33.3%	2	33.3%	1	16.7%

③その他

年代	内容
40代	観光ガイド
50代	救急
60代	もらった覚えがない
	医療機関の検索
70歳以上	市外の知人友人に伊勢原市のガイドができる

(6) 今後も紙媒体での発行を希望しますか

①回答者数

希望する	163	54.7%
希望しない	135	45.3%

②年代別

	希望する		希望しない	
	人数	割合	人数	割合
20歳未満	0	0.0%	1	0.7%
20代	1	0.6%	1	0.7%
30代	10	6.1%	16	11.9%
40代	30	18.4%	24	17.8%
50代	51	31.3%	49	36.3%
60代	34	20.9%	30	22.2%
70歳以上	37	22.7%	14	10.4%

(7) 今後も紙媒体での発行を「希望する」理由を教えてください

①回答者数

情報が検索しやすい	124	76.1%
インターネットは使わない	9	5.5%
その他	30	18.4%

②年代別

	情報が検索しやすい		インターネットは使わない		その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20歳未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
30代	5	4.0%	1	11.1%	4	13.3%
40代	24	19.4%	0	0.0%	7	23.3%
50代	37	29.8%	2	22.2%	10	33.3%
60代	25	20.2%	2	22.2%	7	23.3%
70歳以上	32	25.8%	2	22.2%	2	6.7%

③その他

年代	内 容
30代	紙の方が、目に止まるところに置いて置いて、気軽に開くから。
	ホームページで必要な情報がわかりやすく検索できて表示されるのなら紙媒体は無くてもいいのかもしれないが、障がいや高齢などの理由でネットを使えない人や、人に教える時には、やはり紙媒体が必要だと思うから。情報格差が起きるならば同じ市民なのに平等ではないと感じる。
	スマホだと複数ページを並べて確認することはできないから、紙だと分かりやすい。
	インターネットは、探したいものしか探せない。紙は、パラパラ見ていて知らなかった情報を得ることができる。
40代	高齢の両親にWEBを使う習慣が無い為。
	私自身はネットからでも十分ですが、お年寄りには紙媒体の方が実用性が高いですし、実際に「あのページに書いてあるよ」といったやり取りをご近所の方としたことがあります。
	すべての人が電子化に対応できるわけではないから。紙にもQRコードをつけてホームページにアクセスしやすいようにする。
	決してインターネットができる人達だけだと思わないで下さい。身体の不自由な人、誰にも頼れない高齢者、障がい者、何もかもインターネットにしたら孤立してしまいます。弱者が生きづらい世の中になります。
	インターネットは災害時に使えないことがあるし、高齢者はインターネットが使えない人も多いから。
	お年寄りは、データより紙媒体が良いと考えます。 インターネットが使えなくなった際には紙媒体が便利だから。
50代	紙媒体の方が見やすい。
	インターネットを使えない人を差別しているのではないか。
	年寄りにはインターネットをしませんので同居の義母のために。
	インターネットを使わない方々も、市内には大勢いると思います。
	①高齢者等のインターネット利用がなかなか難しいから。②転入者(伊勢原市を知らない方)の窓口として初めは必要だから。
	インターネットは使うが、まだまだ慣れない人が多い時代です。
	母は紙媒体の方が使いやすいようなので高齢者向けに情報を絞って貰えると嬉しい。
	高齢の両親はインターネットを使わないので。また、ネット検索する前に見る。 すぐに得たい情報に辿り着きやすい為。 手軽に情報検索する場合は紙媒体のほうが速い時もあるので、ネットと併用したい。
60代	一覧性、保存性は紙資料が優位。停電時、ネット不通時にも紙媒体は閲覧可能。
	市のHPも見るが、家族にインターネットを利用しない者がいる。 自分は構わないが、もっと高齢な方が不便ではないか？
	インターネットに不具合が出ることもあり得ると想定して。また、年配の方はインターネットを使っていないことも多いのではないかと思います。そばにインターネットを使える人がいないと、情報が入ってこない可能性があるかと思ます。
	インターネットを使えない人も居る。
	いろいろな事情で、電気やインターネットを使えないケースを想定すると、紙は絶対に必要です。無くさないでほしいです。 インターネットが使えない状況になった場合の為。
70歳以上	高齢になると冊子の方が便利なので。

(8) 今後、紙媒体にどの項目が必要と考えますか

①回答者数

伊勢原市ガイド	115	70.6%
いざという時に備えて	135	82.8%
市役所案内	83	50.9%
戸籍・住民登録・証明	80	49.1%
税金	70	42.9%
国保・年金・後期高齢者医療	101	62.0%
介護・福祉	115	70.6%
健康	87	53.4%
子育て・教育	71	43.6%
暮らし・環境	108	66.3%
各種ご相談	94	57.7%
議会・選挙	25	15.3%
公共交通機関	62	38.0%
公共施設ガイド	107	65.6%
生活ガイド	97	59.5%
公共施設や文化財等の所在地がわかる地図	94	57.7%
その他	6	3.7%

②年代別

	20歳未満		20代		30代		40代		50代		60代		70歳以上	
伊勢原市ガイド	0	0.0%	1	0.9%	4	3.5%	22	19.1%	36	31.3%	22	19.1%	30	26.1%
いざという時に備えて	0	0.0%	1	0.7%	8	5.9%	22	16.3%	45	33.3%	30	22.2%	29	21.5%
市役所案内	0	0.0%	1	1.2%	3	3.6%	16	19.3%	28	33.7%	13	15.7%	22	26.5%
戸籍・住民登録・証明	0	0.0%	1	1.3%	3	3.8%	16	20%	31	38.8%	12	15.0%	17	21.3%
税金	0	0.0%	1	1.4%	3	4.3%	15	21.4%	26	37.1%	9	12.9%	16	22.9%
国保・年金・後期高齢者医療	0	0.0%	1	1.0%	4	4.0%	18	17.8%	34	33.7%	18	17.8%	26	25.7%
介護・福祉	0	0.0%	1	0.9%	5	4.3%	23	20.0%	40	34.8%	22	19.1%	24	20.9%
健康	0	0.0%	1	1.1%	4	4.6%	21	24.1%	28	32.2%	14	16.1%	19	21.8%
子育て・教育	0	0.0%	1	1.4%	8	11.3%	21	29.6%	25	35.2%	6	8.5%	10	14.1%
暮らし・環境	0	0.0%	1	0.9%	7	6.5%	21	19.4%	34	31.5%	19	17.6%	26	24.1%
各種ご相談	0	0.0%	1	1.1%	6	6.4%	19	20.2%	34	36.2%	17	18.1%	17	18.1%
議会・選挙	0	0.0%	1	4.0%	2	8.0%	8	32.0%	7	28.0%	2	8.0%	5	20.0%
公共交通機関	0	0.0%	1	1.6%	3	4.8%	15	24.2%	22	35.5%	10	16.1%	11	17.7%
公共施設ガイド	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%	17	15.9%	35	32.7%	26	24.3%	22	20.6%
生活ガイド	0	0.0%	1	1.0%	4	4.1%	17	17.5%	32	33.0%	21	21.6%	22	22.7%
公共施設や文化財等の所在地がわかる地図	0	0.0%	1	1.1%	6	6.4%	18	19.1%	31	33.0%	17	18.1%	21	22.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%

③その他

年代	内 容
30代	子育てに関する案内がもっと詳しいといい 飲食店マップ
40代	観光ガイド
60代	わかりやすいインターネットの検索先 全て
70代	全ての項目

(9) 紙媒体での発行を「希望しない」理由を教えてください

①回答者数

情報が古い場合がある	17	12.6%
インターネットの方が便利	106	78.5%
その他	12	8.9%

②年代別

	情報が古い場合がある		インターネットの方が便利		その他	
20歳未満	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%
20代	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
30代	5	29.4%	10	9.4%	1	8.3%
40代	2	11.8%	19	17.9%	2	16.7%
50代	8	47.1%	36	34.0%	5	41.7%
60代	2	11.8%	27	25.5%	1	8.3%
70歳以上	0	0.0%	13	12.3%	2	16.7%

③その他

年代	内 容
20代	情報が古い場合がある、インターネットの方が便利、の両方です。
30代	情報が古くなってしまいうわりに、作成・配布に費用がかかるから。
40代	ガイドが届いた時には中を開いて見ますが、その後は、しまっしまいほとんど見ないです。 コスト削減
50代	省資源 資源ゴミが増える。ネットの方がはやい。 必要の人だけで、経費削減。 インターネットのほうが便利であり配達の手間が省ける。 冊子の経費が削減されるから。
60代	印刷代金や配布等の手間を他なことに使っていただきたいと思う為。
70代	紙媒体より費用が安いと思う。税金は他に使って欲しい。だが、希望者には紙媒体を配布する。 使わない

(10) 「いせはら暮らしのガイド」に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください

①自由意見

年代	内 容
30代	色味が読みづらいかな、と思う。
	手元に置ける情報として、ガイドと同じフォームで各ページをプリントアウトできる様になると良い思う。
	多分私は印刷はしないが、スクリーンショットやPDF保存などのデジタルデータ取り扱いに慣れていない人向け。
	いつ時点の情報か、と、web上で更新日を明記しておけば、古い情報にも気付ける。各自、見たい項目だけを自由に選べる。
	ゴミの回収日は、紙で欲しい。他の情報は、伊勢原市の広報紙が配布されるためそれらで最新の情報を知らせてくれるとよい。
	紙媒体での発行を継続していただけるのであれば、ポスターや掲示タイプでハザードマップや避難場所、防災準備品などが書かれているものがあると家庭（自宅）でも使いやすいと思います。ご検討いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。
	紙媒体は、手で書き込みをしながら確認できる、検索ワードが思いつかない情報もページをめくれば探すことができるなど、メリットが多くありますが、毎年送ってもらわないと情報が古くなるので、もったいないと感じます。
	基本的にインターネットで確認して、まとめて情報を手元に置きたいときに、冊子の情報を丸ごとダウンロードできる、簡単に印刷ができるような仕組みがあると便利だと思います。例えばセブプリントなどで印刷できると、自宅にプリンターがなくても使い勝手がいいと思います。
	また、インターネット環境が無い方には、冊子の存在を広報などで知らせ、要望に応じて窓口でもらったり、送ってもらえると良いと思います。
	諸々すでに対応されていたらすみません。冊子の中身はまだ活用する機会はありませんが、知っていたら良さそうな情報がたくさんありました。今後の生活の変化に応じて、活用させていただきたいと思います。
40代	全戸配布しないまでも、公共施設には置いているとか配架しているとか、役所に行ったらコピーしてくれるとか、そういった形にしてはどうか。少なくとも有料にはしないで欲しい。
	紙媒体のものは必要な人不要な人、意見が分かれると思います。
	全員配布ではなく、紙もありますとの案内に留めておけば部数は減らせるのではないかと思います。
	知らない地へ転居してきた身としては、伊勢原市の地図と各種連絡先には大変お世話になりました。
	普段使わない施設でも、自宅から避難する場所、避難所、地震、浸水、どの辺りが安全で危険があるのか。そのような情報はひとまとめになっているとありがたいです。
	転入時、とても助かりました。今では市のホームページが身近になったので、そちらでもいいと思います。
	インターネットを使用しない方々へは紙媒体など必要な情報提供も大切であると考えます。
ぜひ紙媒体発行継続ねがいます。	
いせはら暮らしガイドに関して、現在の高齢者は、インターネットなど使い方が分からない、持ってないなど多い時代だと思います。	
その方々の為にも、まだまだ、紙面での発行も必要だと思います。	
環境問題やコスト面、利便性、即時性など、紙媒体を続けるのは、非効率すぎるため。	
ネットができない人間問題が、必ず出てくるが、できない人に合わせてそこにとどまっていたら、いつまでも非効率で変わらない。	
紙媒体は手元にあっても、ネットで調べるほうが手早いので使用することがありません。	

40代	紙での発行を希望すると回答しましたが、個人としては廃止するのはよいと思います。 しかし、昨今の自然災害などで問い合わせたいときにネットに繋がらない、あるいはバッテリーに節約などの状況下では紙に勝るものはありません。 選りすぐりの必要最低限の情報だけでも紙にまとめたものはあった方が良く感じます。 ゴミの分別についても別紙ですが、市内のスーパーやコンビニ、公民館などで閲覧できたらありがたいです。 ご近所のお年寄りから調べてほしいと1番聞かれるのがゴミについてでした。
	他市町村の同様の冊子も参考に、特に転入者が伊勢原市に住むために必要な情報満載かつ、見やすい冊子を目指して発行してください。
	紙の方が全体を見渡しやすいので検索しやすい、スマホやパソコンに不慣れな人でも使える。一方、電子媒体の方が情報の更新が早いので、いつでも最新情報を提供・閲覧できる。 紙・電子媒体それぞれの利点を活かして、幅広いひとが使いやすいものにしてほしいです。
	なるべく情報は平等に知るべきだと思います。孤立してしまう人が出るやり方は反対です。
	Webでの検索が多いがすべての人が使えるわけではないのである程度の部数は必要かと思う
	子育てについて、充実した内容にしてほしいです。ガイドだけでなく、ワンオペ育児、多胎育児、障がい児や病児育児をしている全ての母親及び保護者への支援を拡充してください。
	これからの伊勢原市を支える小さな命と、その子どもを守り育てる保護者に寄り添った、伊勢原市で子育てをしたいと思えるような施策を期待しています。
	普段はインターネットで調べてしまうため、持っていてほとんど開かないけれど、防災についてはその状況になったらネットも繋がらないと思うから、紙媒体で何か情報が載っていると有難いと思います。
	以前よりこのガイドで病院や制度を調べたりして活用していました。 病院名・受診科・受付時間・休日・電話番号・地区のリスト一覧と番号をふって、地図上で場所を示して欲しいです。
	インターネットで簡単に開けて、知りたいことが直ぐに出てくるようなページがあると助かります。わかりやすくするカテゴリ等を細分化して調べやすくして欲しいです。 紙媒体だと、どこにしまったか忘れて探すのも苦勞します。ただ、インターネットを使えない方や苦手なお年寄りの為に、紙媒体も選べる方が良くもかもしれません。
	ネットを普段使わない人のために、紙媒体は全て無くすわけではなく、市役所に置いておいて、希望者は受け取れるようにして欲しい。
	アプリ化したら如何でしょうか。 あと新宿区のようにPDF配布があると嬉しいですよ。https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/snjkguide202004.html
	インターネットで見るとより紙で見たほうが見やすい。 見る時にネットだと画面を戻ったりしなければいけなく、紙だとその場で見られて見やすい。 希望者のみ配布で問題ないと思います。
	50代
災害その他でスマホが機能しなくなることも考えられるので、紙面での情報も手元に置いておきたいです。	
必要としない人も勿論いると思うので、市役所内に、自由に持って行けるようにしてほしい。	
最新版の更新は、早めにしてほしい。	
通信状況が悪い時の事を考えると、保存版がある方が安心します	
インターネットが使えない高齢者向けに紙媒体は必要と思う。情報が古くても使えないことはないと思う。紙媒体のほうが調べやすい。	
急いでいるときなどはインターネットで調べますが、時間のある時は紙媒体を使います。特に、転入間もない頃は全体観がわかるので、紙媒体のものが助かります。	
70歳以上の方に配るなどの配慮が必要かと。 ネットで必要なことを調べれば足りる。	

50代	インターネットでホームページを見ることが多いので、生活に関連することは、少ないクリック数でページにたどり着けるようにしてほしい。 例えば、ゴミ収集のカレンダーとか。
	インターネットで調べることができるので、廃止してよいかと思います。
	文字見やすくしてほしいです。
	環境問題としてやめるべきなのは理解しますが、お年寄りにはスマホやパソコン等使いこなせない方が一定数います。又耳が遠いので電話もしたがりません。コロナ禍で口コミ等の情報交換も少なくなり更に知らないケースが多いです。(ワクチン接種の情報等)やめなくて欲しいと思います。市民に必要な情報は伝えるべきです。特に年寄りが多い伊勢原市は続けるべきです。検討お願い致します？
	今まで通りの紙媒体での配布を強く希望します。
	引越したての頃は、市の全体の事が分からないので大変有り難く使わせて頂いた。 只、保存版の様に立派な物でなくても良いと思う。 変更はインターネットや各部署へ確認すれば良いと思う。 伊勢原市の発展のため「いせはら暮らしのガイド」に伊勢原市のメリットを載せるなど、おおいに活用したらどうか。 廃止する事はいつでも簡単。 経費節減だけでなく、もっとハングリーになり 伊勢原市の発展のために努力して欲しいと心から思う。
	紙媒体の方が必要な時にすぐに情報を閲覧出来て良いと思う。いざ災害時にパソコンやスマホでWEBから情報がすぐに得られるか分からず不安なので紙媒体での発行は続けて欲しい。
	インターネットは見れるけど、手間と時間がかかる。(まだネットに慣れない世代が多い時代です) 情報が新しくなったらネットで更新されるのも良いが、それなら情報が新しくなったりした際に「くらし安心メール(?)」のような物でお知らせし情報流してくれたらいいかと思う。
	やはり、紙媒体で確認をしたほうがいいと思います。 まずは発行をして、更新したときは印刷をしたら、そのまま貼り付けができたり、きちんと紙媒体の更新ができるようにしてもらいたいです。
	ごみの分別について悩む時が多々あるので、詳しく、分かりやすくのせて欲しい。
	廃止で良いと思います。このように見直ししていくことは歓迎します。
	PCや携帯でネットを使えない高齢者にとっては有益な情報。若者世代にとっては、家に届くがネットで調べてしまうので資源の無駄。そして税金の無駄。財政厳しい伊勢原、考えてほしい。未来の子供にお金を残してほしい。
	暮らしのガイドに限らず、誰もがネットを使えるわけではないので紙媒体は必要と考えます。 見返す、比較するにも良いと思うのですが…古いのかな？
	伊勢原市のホームページは、知りたい事が検索しにくいと個人的には思うし、スマホの小さい画面ではわかりにくい気がします。ページは減らしても 地図や公共施設説明などあった方が良くと思います。
	通常はネットで検索出来ても、災害時等ネットが使えない場合でも、ガイドを見て安心出来るので、今後も紙媒体でお願いしたいです。 ガイドブックをもらった時に少しだけ見るが、その後は本棚にしまったままで活用したことがない。 必要なことはネットで検索する方が早いし、情報も新しいように思う。 資産節約の意味もあり、高齢者等ネットを使わない希望者にだけ配布する方が良くと思う。 日本語が読めない外国人向けにはどうなっているか知らないが、ネットの方が翻訳ソフトなどで読めるのではないかと思います。
デジタル情報弱者のために完全に廃止はしないほうが良いと思います。	
ネット上でPDFにてダウンロードできるものを今までと同じように更新してもらおうのが一番いい形。	

50代	<p>今後は新規転入者、高齢者のみ世帯、希望者（インターネット環境が無いなど）のみの配布で良いと思う。新規転入者でも必要ない場合は、web案内用のチラシを配布すれば良いと思う。</p>
	<p>伊勢原のお店などを入れて頂けたらいいと思う。引っ越してきたとき何もわからなかったの。</p>
	<p>そのうち全員が紙媒体を必要としなくなるとは思います。今はインターネットに不慣れな方にも対応していかないといけないのだと思います。市の広報紙や回覧物も含めて、また選挙のポスター掲示なども含めて、駅や公民館やスーパーなどにデジタルサイネージを配置して活用するのが、一番コストが安いのではないかと思います。</p>
	<p>市から市民への広報全体を効率化する取り組みがあるといいなと思います。</p>
	<p>インターネットだと一覧性が劣ります。ページ構成の工夫をお願いしたいです。</p>
	<p>紙媒体のほうが、すぐに見られるので無くして欲しくないです。</p>
	<p>主に施設の電話番号を調べる等の際見ていましたが、今改めてみたら、本当に素晴らしいガイドブックでした。特に前半のガイドなど、こういうのいかなと探していたほどです。このようなアンケートや回覧などで時に話題に上るとよいです。</p>
	<p>ご高齢者が、紙媒体を希望されるケースが多いかと思いますが、老眼で小さい文字が見えない、また、認知症などで、理解が難しくなったりすることがあると思います。紙資源の節約や、配布に係る自治体担当の無償の協力だけに頼るのも限界があるのではないかと思います。デジタル世代においては、スマホなどからアクセスが可能と思います。柔軟なキーワード検索ができると使いやすくなると思います。デジタルサイトへのリンクが含まれるショートメールで定期的な周知が行われると、サイトの閲覧も増えるのではないのでしょうか。</p>
	<p>市内商業店舗の割引券等を付けたら良いと思う。</p>
	<p>冊子が必要な場合、有料配布としてインターネットでの利用が進むようにし、経費削減いただきたい。ただし、一定の基準を設けて低所得の場合は、無料配布とするなどの配慮は必要と思います。</p>
	<p>ネット検索するにしても目次的に紙媒体は見易い。ネット検索は確認作業（最新、更新日）も伴い面倒。（古い情報も残っているの）外出先では便利だが、家では紙面のガイドをまず見ます。予算も関係するでしょうが、ネットだけに頼ってしまわず、サービスを受ける側の状況も考えれば、紙媒体との併用をお願いしたいです。</p>
	<p>インターネット版をPDF形式で掲載していただく方が、ブック形式よりも使いやすいと感じます。（現在は民間企業のレポート等では、PDF形式でインターネット掲載することが通例になっています）</p>
	<p>暮らしのガイドを配布する時に、次回の紙媒での配布を希望するかどうかを提出してもらってもよいと思います。くらし安心メールが便利。私はくらし安心メールとHPから伊勢原市の情報を取得しています。</p>
	<p>情報が更新されると確かに古い内容になってしまうが、この先インターネットを使いこなせることができるかわからないので紙媒体での暮らしのガイドは廃止してほしくない。若い世帯など紙媒体を必要としないかもしれないので、希望者に配布したらよいのではないかと思います。</p>
	<p>ネット環境のない世帯もあると思うのでまったく紙媒体をやめてしまうのはどうかと思います。</p>
	<p>初めての転入者、特に高齢者等のデジタルに不慣れな方々には便利かもしれませんが、転入時や希望者配布で良いのではないのでしょうか。</p>
	<p>いせはら暮らしのガイドはとても分かりやすく、よく出来てるとは思います。私たち世代や子ども達のような若い世代はネットを利用することが多いので紙媒体は必要ないかと思えます。</p>
	<p>しかし、市内のリフォーム会社で働いていますが、ご高齢の方は何を見てご依頼頂いたかお伺いすると、いせはら暮らしのガイドを見たと言われる方が複数いらっしゃいますので、高齢者向けに改訂したモノで配布されると良いかと思えます。</p>
	<p>存在を知らなかった。あるのなら見たい。</p>
	<p>個人的にはインターネットで用が済みますが、ネットが使えない方々のことを考えると、紙媒体も残しておく必要があると思います。</p>

50代	ネット上の情報が最新に更新されていない場合が散見される上に、必要な情報に速やかにアクセスできない場合が多くて伊勢原市のホームページが神奈川県や他の市町村のホームページに比べてとても使い勝手が悪い。あと、駐車場やリサイクルの民間業者への委託や協定などが近隣自治体より相当おこなっているの、せめて同等にしてほしい。
	ウェブ難民が困らないように紙媒体は今後も残して欲しいです。
	インターネットで常に最新情報を見られる方が良い。 紙媒体希望者は、市役所や公民館で貰える様にすれば良い。 紙媒体での全戸配布は税金の用途を再考する方が良いと思います。
	年配の方が見やすいフォントや文字体のアンケートを取ってみてはいかがでしょう。男性だけでなく女性にも聞いてほしい。いがいと年配の方は文字が見やすいかどうかで読んだり読まなかったり・・・紙でもインターネットでもそれは同じかなと思います
	広告獲得、二色刷り、用紙を薄紙に変更などして、発行コストを引き下げた上で発行。 最悪、紙媒体の冊子を有料販売して欲しい。
60代	あまり見ないのは、事実です。でも、場所を決めて置いてあるのが分かっているので必要があれば見ます。全戸に配らなくて、転入者と、市役所等で配布するか、市の広報のように連絡すれば届けてもらえるかすれば、部数は減るのでは。
	インターネット弱者もいることを踏まえ、今後どうするかを考えてもらいたいと思います。 ただ、何か必要があったときに、ガイドブックを見るかという、直接市役所に電話するのではとも思うし、そう考えると、先ずは必要としている方がどれだけいるかだと思います。
	各情報を網羅的に掲載しているが、項目によっては別途より詳細な資料が有り重複部分が多い。ネットが使えない高齢者対策を講じれば不要と考えます。
	今後も紙媒体の継続を希望します。インターネットはパソコン立ち上げが必要だし、携帯は小さくて見にくい。
	廃止は賛成だが、そもそも、ホームページがわかりにくいのが問題。
	市報をもっと手に入りやすくしてもらいたい。
	索引的な冊子を希望します。インターネットのをよく使用しますが、階層が深く欲しい情報先に行くまでリンクさせすぎる。
	広告が多い
	お年を召したかたは、やはり紙媒体が安心するのではないかと思います。 人数としては少ないかもしれませんが、インターネットのできる環境にないかたもおられるのではないのでしょうか。 若いかたの意見もとても大切です。けれど、インターネットに弱いかたを一番に考えて進めていただきたいと存じます。 ご苦労も多いと思いますが、弱いかたたちに優しい伊勢原市であっていただけたらと願います。
	デジタル化された今、紙の冊子は利用されないのではないかと？それに紙代、印刷代、送付代などコストもかかる。 ホームページに偏りなく情報を載せて、誰でも知りたいことをすぐに検索できる環境を用意することが、現在の社会情勢に合致していると思う。
	冊子になっているとすぐに取り出せて便利。
	基本はインターネットで良いですが、情報難民のためにガイド印刷サービスや印刷物の販売も検討して下さい。
	紙媒体は不要。Web化する場合は検索しやすくしてください。
	自宅の通信環境が良くないため、インターネットが繋がりにくいことがある。 誰もがいつでもインターネットを使えるわけではない。紙媒体は残してほしい。
	メモ欄がもう少し多くあったらうれしいです。備忘録や、クリニックや薬局の新設などの追加記入にも便利だと思います。

60代	<p>インターネットは普及していますが、PCを持っていないし携帯電話も持っていない人が居ます。ネットの無い人は放置ということになります。</p> <p>全市民がネットを使っていると思うところに、思慮の無さを感じます。</p> <p>紙媒体は残し、情報が古くなった部分だけ、訂正箇所として印刷して挟めば良いだけだと思う。</p> <p>急ぐ時は紙のほうが速いです。</p> <p>PC、スマホが有っても、冷蔵庫のドアには連絡先のメモが大量に貼ってあります。</p> <p>市役所職員は 東日本大震災3. 11を忘れましたか？停電すれば、何も役に立たないです。</p> <p>停電対策を全家庭が行えるわけではありません。</p>
	<p>必要な人、不要な人と、分かりますね。転入して来た人等には、手渡しで。他の方は、市の公共施設に置く感じで良いかと思います。私は、伊勢原市の、LINEも、くらし安心メールも登録しておりますが、いつまで、操作が出来るか？わかりません。やはり、一冊保管してる事により安心感が有りますので、保管してます。と共に、LINE、メールの充実を計り、冊子がなくても不自由に感じない様にする事も大切かと思います。</p>
	<p>インターネット上でもっと詳しい情報が見れるようにして欲しい。</p>
	<p>基本的にホームページに掲載し、希望者には紙媒体で配布すれば良い。まだまだ高齢者はインターネットに接続出来ない。</p>
	<p>私の様な高齢者が見易く(文字の大きさ)、簡単に希望する情報が検索できる様にして頂きたいです。</p>
	<p>2021年5月に転入してきたので「いせはら暮らしのガイド」は知りませんでした。</p> <p>現在「いせはら くらし安心メール」に登録しています。結構役立っています。</p>
	<p>インターネットで調べるときに分かりにくい場合もある。</p> <p>例えばゴミに関しても一回で調べられないときがあるためもう少しかんたんに出来たらいいと思う。</p>
	<p>紙のほうが信頼できます。インターネットも使わない訳ではないですが、暮らしのガイドはそれほど頻繁に情報が更新される内容ではないと思いますし、もし、これ古いか？と疑われる場合は、関係各所に問い合わせ確認すればわかるので、問題は無いと考えています。何でもインターネットですぐ検索できるから紙は無駄だと決めつけるのはあまりにも安易な考えだと思います。その考え方は、最新情報はネットで見られるから新聞はいらないと言って居る人達と同じだと思います。因みにうちは、月極めの新聞をとっています。</p>
	<p>確かにインターネットが普及し高齢者もネット人口が増えているがネットだけではなく紙面で見るという事も大切だと思う。</p> <p>これからも利用したい。</p>
	<p>回覧板も紙媒体の廃止をしてもらいたい。これも市のHPで各自治会のものから閲覧できれば充分。ゴミの削減にもつながる。</p>
70歳以上	<p>市から災害情報などがスマホラインに入るように申込みしていますし、ホームページもよく見ます。</p> <p>紙媒体は置く場所が必要で、情報が古くなれば、変更が必要となりある年ごとに発行するのは費用も掛かり不経済です。</p> <p>伊勢原市の色々な事が掲載されているので調べたりするのに助かります。これからも紙面をお願いします。</p> <p>インターネットが使えない市民も少なくないのではないかと、思う。インターネットだけでは、インターネットが使える人と使えない人との間に不公平で情報格差が生じることにならないか？</p> <p>市のホームページを充実すれば、良いのではないかと思います。</p> <p>転入者用に紙ベース配布が必須ならば、作成が必要ですが、一般市民への配布はいらないと思います。それよりも、ホームページを更に使いやすいものにして頂きたいと思います。</p> <p>残念ですが、利用価値が年々薄れてきていると思います。</p> <p>ネット配信は、検索には便利。紙の場合は、情報が古くなる事は避けられない。しかし、全体をばらばらと見渡すには、やはり紙に勝るものはないと思います。</p>

70歳以上	<p>確かに、ネット情報の方が早いし、場所も選ばないので便利であるがまだまだ、ネット情報を取得できない方々も沢山おられます。そう言う方々のために、文字を大きくし、活用しやすい冊子の装丁が必要です。</p> <p>それ以外にも、活用数は少ないかもしれないが、災害時や伊勢原市の紹介版としても活用できます。</p> <p>写真や装丁など、魅力ある、個性的な冊子にしてください。伊勢原市の職員は優秀なので、担当者に期待します。</p> <p>変更がある情報と、変更のない情報に分けて、2分冊にしてはいかがでしょうか。変更がある情報については、毎年発行して欲しい。</p> <p>高齢になりインターネットを見るのが難しくなってきたので紙媒体によるガイドを希望します。高齢者に対してインターネットによる情報周知は考え直してもらいたい。</p> <p>高齢になるとスマホやPCの操作がスムーズにいかなくなり、調べものが辛くなります。冊子ならすぐに調べられるので、便利です。是非頂きたいです。</p> <p>紙ベース時に要した費用を他の有用な分野に回してください。</p> <p>インターネットで検索して見るにしても、より簡単、スピーディーな検索方法を提供して頂きたい。</p> <p>市のホームページを随時更新して、より新しい情報を知らせてほしい。</p> <p>紙媒体の方が検索しやすく、各種情報と比較しやすい。また個人病院の所在地についても地図上に網羅しており調べやすい。紙媒体は絶対に無くしてはならないと強く思う。</p> <p>分かりやすいので是非続けて下さい。</p> <p>インターネットが普及しておりますが、まだまだ冊子の需要が有ると思います。全所帯がインターネット普及されれば、不要かもしれませんが、また、時期早尚かと思えます。</p> <p>家族のなかでインターネットが使えないものがある限り紙媒体を無くさないでほしいです。</p> <p>現状のガイドについては、市役所のホームページから見るようにしておくことは必要だと思います。</p> <p>また、転入者には市役所への手続き時、ホームページ上にガイドがあることを紹介、市を理解してもらえるように案内すべきだろう。</p> <p>高齢者には、インターネット利用が必ずしも便利ではないので、ダイジェスト版等を作成し、市役所内高齢者担当部署や民生委員、自治会等を通じて直接配布という対応をして欲しい。</p> <p>手元にあるガイドは2015年版。最新版は何年版？</p> <p>従来通りの発行を希望します。</p>
-------	---

「いせはら暮らしのガイド」今後のあり方についてのwebアンケート

伊勢原市では、市民の皆さまの日ごろの生活に役立てていただくことを目的に、市の概要、行政情報、その他、医療をはじめとする各種生活情報などを紹介する保存型ガイドブック「いせはら暮らしのガイド」を2～3年毎に発行しています。

インターネットの普及により、ホームページ上で新しい情報が即時に見ることができる現在、「いせはら暮らしのガイド」について市民の皆さまのニーズを把握するとともに、紙媒体での情報発信等の今後のあり方について検討するため、アンケート調査を行います。

ご協力をお願いします。

問1 あなたの住まいを教えてください。

- 市内在住
- 市外在住

問2 あなたの年齢を教えてください。

- 20歳未満
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70歳以上

問3 あなたは「いせはら暮らしのガイド」を知っていますか。

- 知っている
- 知らない（※知らないにチェックをした方は、ここで質問は終わりです）

「いせはら暮らしのガイド」は、令和2年2月に各戸へ配布するとともに、数量限定で、しばらくの間、転入手続をした方に対しても市役所窓口にて配布していました。そここでお聞きます。

問4 問3で「知っている」と回答した方に伺います。

現在「いせはら暮らしのガイド」を持っていますか。

- 持っている
- 持っていない
- わからない

問5 「いせはら暮らしのガイド」をどの方法で入手しましたか。

- 自宅に届いた
- 転入手続の際に市役所でもらった
- わからない

問6 「いせはら暮らしのガイド」のどの項目が役に立ちましたか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

- 伊勢原市ガイド
- いざという時に備えて
- 市役所案内
- 戸籍・住民登録・証明
- 税金
- 国保・年金・後期高齢者医療
- 介護・福祉
- 健康
- 子育て・教育
- 暮らし・環境
- 各種ご相談
- 議会・選挙
- 公共交通機関
- 公共施設ガイド
- 生活ガイド
- 活用したことがない
- その他 ()

情報の更新や検索が容易であることから、近年、インターネットの普及が進んでいる一方で、紙媒体は、情報が更新されると古いものとなってしまいます。

市の行政情報は、市のホームページの充実を図り閲覧いただくことで、紙媒体の今後の発行について、廃止を含めた見直しを検討しています。

そこで、お聞きします。

問7 今後も紙媒体での発行を希望しますか。

- 希望する (→問8～問9へ)
- 希望しない (→問10へ)

